

なすしおぼら ボランティアセンター情報誌

令和3年11月20日号



昨年のふれあい広場は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりましたが、今年は、人が集まらないかたちのふれあい広場を開催しました。コロナ禍での想いや、ふれあい広場への想いをハート型の付箋に綴り、ボードに描かれた大きな樹木に貼って、一つのシンボルツリーを完成させました。一人ひとりの想いが込められ、心のつながりを感じることができたふれあい広場になりました。

また、高さ224cm 幅366cmのシンボルツリーは、とても迫力があり、色鮮やかなハートの花が咲き誇る作品となりました。多くの方々のご協力により、無事に第40回ふれあい広場を開催することができました。心より感謝申し上げます。





那須高等学校 「地元友だちプロジェクト」



7月14日(水)、いきいきふれあいセンターにて、授業科目「総合的な探求の時間」における「地元友だちプロジェクト」が行われました。このプロジェクトは、地域での活動や地域住民との対話をとおり、那須高等学校の生徒に地域住民としての基礎力を高めてもらうことを目的として始められました。今回は、ボランティア団体「知的障がい・発達障がい啓発隊 カラフルBOX」による疑似体験でした。

知的障がいや発達障がいとはどのような障がいなのか、そして、その方々への接し方などを講話と疑似体験をとおりて学ぶことができました。

参加した生徒たちからは、「疑似体験をして、私たちが日常生活で行っていることの中には知的や発達に障がいのある人にとって難しいこともあるのだなと思った。」「約2時間という短い時間において、障がいについて知ることができて良かった。自分がこれからどうしたらいいのかがわかった」などの感想がありました。



▲「ちょっと」や「少し」といった抽象的な言葉ではなく、具体的でわかりやすい言葉を使う事の大切さを学んでいます。



▲興味関心があることに一点集中するということをペットボトルを使って体験しています。

はくじょう 「白杖訓練」を見学しました！

10月2日（土）に黒磯駅周辺で、白杖訓練が行われました。白杖訓練とは、視覚障がい者が視覚障がい者ガイドヘルパーと一緒に歩道や横断歩道、いろいろな施設を歩ける様にする訓練です。視覚障がい者ガイドヘルパー養成指導者認定証をもっている「アイサポート那須」の山下さんが、黒磯図書館から黒磯駅の構内窓口までのルートを指導していました。

「歩行時の白杖の使い方」や「点字ブロックがないところは壁に沿いながら歩く」「自動改札口には点字ブロックがないため窓口のそばにある改札口を使う」などのアドバイスを受けながら、訓練を行っていました。

また、点字ブロックでは場所の案内がないため「どこに何があるか」は訓練の中で覚えていかなければならないそうです。

なお白杖訓練は、視覚障がい者の方が栃木県視覚障害者福祉協会へ依頼をし、協会の審査を通過することで受けることができ、最大20時間の訓練を行うとのことでした。



▲点字ブロックがないため、壁などに沿って歩いています



▲点字ブロックのあるところへ移動しています



▲駅構内へ向かっています



▲駅構内での歩き方を学んでいます



白杖 SOS シグナルを知っていますか？

このシグナルは、視覚障がい者が困った時に、白杖を頭上50cm程度に掲げて、手助けを求めている合図です。白杖 SOS シグナルを見かけたら、何で困っているのか声かけをしましょう。

声をかける時は、いきなり肩を叩いたり、腕を引っ張ったりせず、そばに行き、様子を見て正面から声をかけるようにします。また、白杖 SOS シグナルを示していなくても、困っていたり、危険に遭遇しそうな場合は、声をかけてサポートしましょう。



福祉体験学習 in 東小学校

～体験学習をとおして障がい者への理解を深める4年生～

第1弾 車いす体験



▲操作をしながらわかりやすく説明



▲校舎内の廊下を車いすで初体験



▲昇降口の段差にもチャレンジ

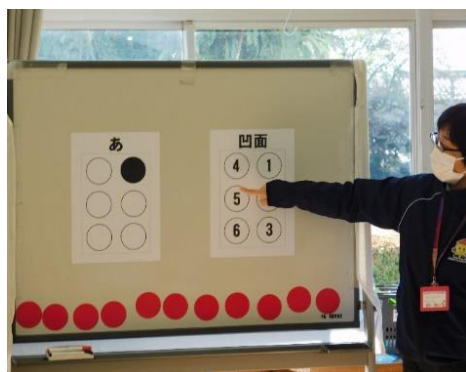
10月6日（水）、「サポートみらい」の皆さんが講師を務め、車いす体験を実施しました。まず初めに、基本的な操作方法の説明を行い、その後、グループに分かれ、校舎内を車いすに乗る側、押す側に分かれて体験しました。普段生活している校舎内も、車いすに乗るとちょっとした段差が障害になるということに気づき、バリアフリーについて考える機会にもなりました。

体験をとおして、車いすに乗る人、介助する人、双方の気持ちを実感してもらうことができました。また、相手を思いやることの大切さにも気づいてもらうことができました。



▲サポートみらいの皆さん

第2弾 点字体験



▲点字のしくみを勉強



▲初めての点字に真剣な表情です



▲点字を指先で読む体験

10月18日（月）、社協職員が講師を務め、点字体験を行いました。点字を書く道具や点字のしくみなどの説明を行った後は、点字盤を使い、点字を書く体験をしました。初めて点字に触れる児童たちは、真剣に点字を書いていました。自分の名前や家族の名前、好きなキャラクター、スポーツなどを自由に書き、最後に、書いた点字を指先で触り、目を閉じて読む体験もしました。今回の体験で、点字や視覚障がい者に対する関心を高めてもらうことができました。

第3弾 視覚障がい者の講話



▲渡邊さんの見えない世界を疑似体験



▲児童たちからたくさんの質問が出ました

10月22日（金）、渡邊伸勝さんを講師に迎え講話が行われました。自身の障害についての話や、目を閉じ手で目を押さえることで渡邊さんの見えない世界を児童たちに疑似体験してもらい、目が見えなくて生活をするということ想像してもらいました。

次に、質疑応答が行われ、生活で困ることや普段の生活、便利なグッズ、趣味など様々な質問に答えました。スマートフォンの音声ガイドも実演しながら紹介しました。

渡邊さんは、不便なことも、工夫をして自分らしく生き生きと生活していることを伝え、何事もあきらめずにチャレンジすることの大切さを伝えました。最後に、「ありがとうございました」の文字を書いて、児童たちを驚かせ、感謝の気持ちを伝えました。



▲スマホの音声ガイド実演

第4弾 聴覚障がい者の講話と手話体験



▲手話を教える鈴木さん



▲覚えた手話で伝わるか挑戦



▲手話で自己紹介

10月29日（金）、11月4日（木）の2日間にわたり、講師に鈴木弘義さん、手話通訳に矢吹陽子さんを迎え、聴覚障がい者の講話と手話体験がクラスごとに行われました。

まず、鈴木さんの生い立ちや手話の違いを知ってもらうため、日本手話、日本語対应手話についての話、聴覚障がい者は見た目では分からないということ、コミュニケーションをとる方法についての話がありました。

次に、イラストのイメージからジェスチャーで鈴木さんに伝える体験や教えてもらった手話を使い鈴木さんに伝わるかのゲームを行いました。どのクラスも積極的に参加する姿がみられ、最後には、「私は東小学校の4年生です」などの自己紹介ができるようになりました。手話に触れることで、聴覚障がい者への理解が深まりました。

とちぎつばさの会県北会員交流会 in 那須塩原支部

～自立への一步のために社会的擁護からの巣立ちを支えていく～



10月28日(木)、西那須野公民館で、とちぎつばさの会県北会員交流会が開催され、会員の他、民生委員・児童委員や市役所職員も参加しました。

初めに、とちぎユースアフターケア事業協同組合理事長の福田雅章氏を講師に迎え、とちぎユースアフター事業について「自立への一步のために社会的擁護からの巣立ちを支えていく」と題した講話が行われました。社会的擁護(児童福祉施設、里親など)のもとで育った人の生活、就職、進学支援を行っているその活動について、実際に行っている支援などを交えた話を聞くことができました。また、自立してい

その後行われた支部会員近況報告会では、各支部から活動や近況についての報告があり、情報交換をしながら交流しました。

とちぎつばさの会那須塩原支部長の佐藤峰子さんは、「児童養護施設養徳園(さくら市喜連川)の支援でこれまで関わってきたこともあり、今回の講話を企画した。社会的擁護のもとで育った子たちが、自立した社会人になる支援を行うのは大人の役目であり、現状を多くの人に知ってもらいたい」と話していました。



※とちぎつばさの会那須塩原支部は、男女共同参画社会の実現を目指すことを目的に活動し、児童養護施設交流活動や人権意識啓発のオリジナル紙芝居の制作と披露などを行っている団体です。

音訳ボランティア「かっこうの会」お楽しみコーナー朗読会



那須塩原市では、塩原地区、西那須野地区、黒磯地区で活動する音訳ボランティアが3団体あります。その団体が、当番制で市広報や社協だより、議会だよりを音訳し、録音、編集したCDを視覚障がい者の方へ届けています。

「かっこうの会」は、39年の長きにわたり塩原地区で活動している歴史あるボランティア団体で、現在は9名で活動しています。

11月5日(金)、ハロープラザに「かっこうの会」の5名が集まり、お楽しみコーナーの朗読会が行われました。音訳CDリスナーの皆さんに楽しんでもらうため、市広報の音訳当番に併せて、お楽しみコーナーと題して、会員それぞれが好きな書物を朗読し録音しています。この日も、どんな本を朗読するか会員同士も楽しみに参加していました。リスナーのリクエストに応じて、料理のレシピ本を読んだこともあるなど、少しでも喜んでもらうために工夫を凝らした活動をしています。



講習会情報

ディスコン指導者養成兼指導者フォローアップ講習会

当協会では、市民が気軽にできる生涯スポーツやレクリエーション活動の振興を図るため、ニュースポーツの普及に努め、特にシルバー世代向けにディスコンを普及しています。その普及・審判の指導者養成や指導者の技術向上のため、初心者、有資格者を対象に講習会を開催します。

《日程・内容》 12月5日（日）

◇ 9:00～10:00 講義「ディスコンの沿革、概要、投板・競技方法他」

◇ 10:00～13:00 実技「ディスコンの審判・運営方法他」

※兼ねてディスコン交流大会を開催し、その運営・審判方法を確認、習得します。

《会場》 那須塩原市「高林公民館（高林活力倍增センター）」 住所：那須塩原市箭坪347-1

《受講料》 1,000円+テキスト代700円

ただし、今まで指導者養成講習会を受講されている方は無料です。

※日本ディスコン協会インストラクター資格取得の一部単位認定をする。

《対象》 一般市民でディスコンに関心のある方やレクリエーション活動に関心のある方。

《定員》 20名（ディスコンインストラクター資格取得希望者を優先）

※定員になり次第締め切ります。

《講師》 那須塩原市レクリエーション兼ディスコン協会の有資格者

《主催》 那須塩原市レクリエーション協会

《その他》 運動のできる服装、体育館シューズ

筆記用具を持参してください。

《申し込み・問い合わせ先》



那須塩原市レクリエーション協会 菊地 彰

TEL: 090-3474-1659

E-mail: kikuchi1343@basil.ocn.ne.jp



イベント情報



第1回県北クリスマスウォーク



🎄県北クリスマスウォークとは…「子どもの貧困をなくそう！」をテーマに社会的・経済的に困っている世帯や、その子どもたちを支えて応援したいという想いを広く伝えるためのチャリティイベントです。フードバンク県北と多世代で寄り添える居場所を目指すスマイルハウスボランティア会が協力し開催します。

日 程：12月25日（土） 9:30～13:00

場 所：大田原総合文化会館前（栃木県大田原市本町1-3-3）

コ ー ス：文化会館前 → TOBU 大田原 → 王冠ボウル

→ トコトコ大田原 → ゴール（文化会館前）約5km

参加寄付：👤おとな1,000円以上

👶中学生以下は無料（保護者同伴）

締 切：12月20日（月）下記連絡先まで

お問合せ・申込：TEL0287-48-6000 FAX0287-48-6700（担当：安井）

ホームページ <https://tochicomi.org/santa/>

街頭募金

同日開催

（10:00～12:00）

- ・TOBU 大田原
- ・トコトコ大田原

- *目標50人！
- *街頭募金ボランティアも募集
- *寄付だけでもOK



主催：フードバンク県北/スマイルハウスボランティア会

ボランティア相談コーナー

収集ボランティア活動 ～使用済み切手編～

Q 使用済み切手を寄付しようと思っていますが、気をつけることはありますか。集められた切手はどうなりますか。

A 収集する時に気をつけること・・・

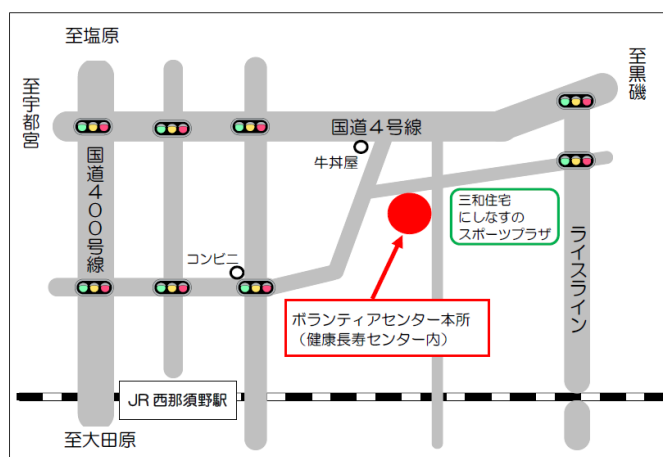
消印を切らないように、切手のまわりに1cm～2cm程度の余白を残して切ってください。日本切手、外国切手、どちらでも大丈夫です。

集められた使用済み切手は・・・

みなさんが集めた使用済み切手は、切手業者や切手コレクターにkg単位で買い取ってもらった売却益で各団体が社会貢献活動を行っています。ボランティアセンターでは、那須塩原市高校生ボランティアグループ「とんぼの会」が行っている収集活動の窓口としてお預かりし、アジア学院などの団体に寄付し、活動に役立てられています。

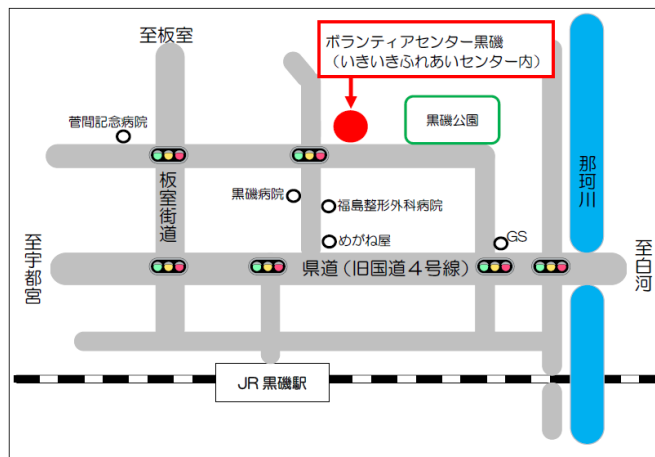


【ボランティアセンター本所】



住 所：那須塩原市南郷屋5-163
健康長寿センター内
電 話：0287-47-6700
FAX：0287-47-6690
Eメール：v.center@ns-shakyou.jp

【ボランティアセンター黒磯】



住 所：那須塩原市桜町1-5
いきいきふれあいセンター内
電 話：0287-73-0073
FAX：0287-73-0073
Eメール：k.vcenter@ns-shakyou.jp

ボランティア活動実績

9月	イベント	0件	0人	10月	イベント	1件	4人
	託児	0件	0人		託児	0件	0人
	その他	0件	0人		その他	1件	2人
	合計	0件	0人		合計	2件	6人

ボランティア登録数(10月31日現在)

団体	個人
123 団体 (非公開含む)	84 人



発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
ボランティアセンター本所 TEL：0287-47-6700 FAX：0287-47-6690
〒329-2705 那須塩原市南郷屋5-163(健康長寿センター内)
Eメールアドレス：v.center@ns-shakyou.jp
ホームページアドレス：http://ns-shakyou.jp/
★メール、FAX、お電話で皆さまの感想や情報をお寄せください。

